

2013年2月20日

アジア太平洋地域向けに、日本コンテンツ専門の
総合エンタテインメント・テレビチャンネル「Hello! Japan」を立ち上げ
— シンガポールで2月25日から本放送を開始し、放送エリアを順次拡大 —

株式会社電通
日本テレビ放送網株式会社
株式会社テレビ朝日
株式会社東京放送ホールディングス
株式会社テレビ東京ホールディングス
Singapore Media Alliance Pte.Ltd.
株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
北海道テレビ放送株式会社
株式会社小学館集英社プロダクション

電通、日本テレビ放送網、テレビ朝日、東京放送ホールディングス、テレビ東京ホールディングス、シンガポールの投資会社 Singapore Media Alliance、イマジカ・ロボットホールディングス、北海道テレビ放送、小学館集英社プロダクションは共同で出資したテレビ事業の運営会社「J FOOD & CULTURE TV PTE. LTD.」（本社：シンガポール、以下 JFCTV）を通じて、アジア太平洋地域の国々をターゲットとした日本コンテンツ専門の総合エンタテインメント・テレビチャンネル「Hello! Japan（ハロー！ジャパン）」を立ち上げます。

本チャンネルは2月25日に本放送を開始するシンガポールを第1弾に、順次放送エリアを拡大し、計11カ国・地域（シンガポール、インドネシア、フィリピン、香港、マレーシア、タイ、オーストラリア、ベトナム、インド、韓国、台湾）での展開を予定しています。

昨今、経済成長の著しい ASEAN 地域を中心とした新興市場においては、参入を目指す域外各国が現地でのプレゼンスを高める施策に注力しています。その背景には、自国の存在感を高めることが進出する同国企業のブランドイメージの醸成や、インバウンド（旅行者の自国への誘致）の増加を後押しすることになるということがあります。各国は戦略的に自国の文化への認知・理解を促進し、好意度を高めるための手段のひとつとして放送コンテンツの輸出に力を注いでいます。グローバル競争が激化する中、日本も競争力のある質の高い日本コンテンツを提供していかなければなりません。

現状、海外における日本の放送コンテンツは、各国の放送局が独自に買い付けて放送している番組や NHK ワールドが放送しているものがありますが、日本の民間企業が主体とな

って広域展開している放送チャンネルは存在していません。そこで、日本コンテンツの市場拡大と日本のプレゼンス向上を目指して、今回のプロジェクトは立ち上がりました。国内の複数のメディア・コンテンツ企業が主体的に連携してコンテンツの総合編成を行い、海外で放送事業を行うことになる今回のケースは、日本初の試みとなります。

また、日本企業が海外においてバラエティーや音楽などの総合エンタテインメント・テレビチャンネルを設けることは、グローバル化を加速する日本企業をサポートすることにもつながっていくものと期待されます。例えば、番組内容と連動したテレビCMやイベント展開など、広告コミュニケーションの相乗効果を高めるための多様な施策が可能になります。

「Hello! Japan」の概要とロゴマーク、および「JFCTV」の概要は次のとおりです。

< 「Hello! Japan」の概要（開局時点） >

開局時期 : 2013年2月25日

放送エリア : シンガポール

配信方法 : 現地CATV「StarHub」の無料チャンネルのひとつとして展開

※57万世帯が視聴可能で、総世帯数の約50%をカバー

対象 : 現地在住のオールターゲット

放送形態 : 英語字幕

放送時間 : 24時間

広告の有無 : 有

番組内容 : アニメ、バラエティー、ドラマ、音楽、映画、旅、食、情報、スポーツなど

■ ロゴマーク



< 「JFCTV」の概要 >

社名 : J FOOD & CULTURE TV PTE. LTD.

本社所在地 : シンガポール市内

設立 : 2011年4月25日

資本金 : 10,499,600 シンガポールドル (約7.8億円) (2月25日開局時点)

代表者 : 取締役 CEO 森 幹雄

従業員数 : 7名

事業内容 : シンガポールを中心としたアジア太平洋地域において、ケーブルや衛星などの各種放送メディア向けに、日本関連コンテンツの供給、チャンネルの提供、番組の制作などを行う。

以 上